

平成 28 年度 第 4 回全国健康保険協会愛知支部評議会議事録

日 時：平成 29 年 1 月 16 日（月）13：00～15：00

場 所：全国健康保険協会愛知支部 第一会議室

出席者：天木評議員、金原評議員、後藤澄江評議員（議長）、後藤治彦評議員、後藤雅文評議員、高橋評議員、竹内評議員、永池評議員、林評議員（五十音順）

事務局側出席者：広瀬支部長、深沢企画総務部長、加藤業務第一部長、小野寺業務第二部長
田中企画総務グループ長、井上グループ長補佐、藤田主任、土田主任、中村主任

○ 評議員の改選にあたり、評議員の互選により議長、議長代理の選任を行った。

1. 前回議事録の確認

- ・前回議事録について問題ないということで承認された。

2. 平成 29 年度保険料率について

【被保険者代表】

- ・準備金には国の定めた基準があるのか。

（回答）

- ・下限は 1 ヶ月分と決められており、不足すれば保険料率引き上げでカバーすることが決められているが、上限については基準がない。

- ・国庫補助が減らされることを危惧したが、そういうことはないのか。

（回答）

- ・ないとは言い切れない。現在は新たに積みあがった分の 16.4%が減額されることになっている。

【学識経験者】

- ・積みあがった準備金の管理はどうなっているか。

（回答）

- ・みずほ銀行に預けている。

- ・準備金の管理・運用方法については説明があつてしかるべき。みずほ銀行一行に預けるのが適正かどうか。金融機関に競わせる方法もある。

【学識経験者】

- ・自社で健康保険組合を組織できるような企業が協会けんぽに加入し、国から国庫補助をもらっている。例えば、企業イメージ向上のためにスポーツに多額の支援を行っている企業が協会けんぽに加入している。本来は自らやるべきところに支払ったうえであるべきで順番が逆ではないか。その順番を正さないと、突っ込まれる原因になるのではないか。

【学識経験者】

- ・ 現在「働き方改革」が謳われており、今後どのように所得が推移するかわからない中では準備金の議論は早計のような気がする。

【被保険者代表】

- ・ 介護保険料率はどこで議論されているのか。保険者が意見を言うところはあるのか。
- (回答)
- ・ 介護保険料率については国から金額が示され、その金額と総報酬で料率を決めるだけで、意見などを言うところはない。

3. インセンティブ制度について

【学識経験者】

- ・ 今までは健保組合や国保との間でのインセンティブ制度だったものが、協会けんぽ支部内でのインセンティブに変わるということか。

(回答)

- ・ 協会けんぽが加算されても減算されても影響が大きすぎるため除外となったが、その主旨を生かし支部間でのインセンティブ制度をつくることになった。
しかし、ペナルティに対する法的根拠がなく、まず法的整備が必要と思われる。

- ・ 支部間競争になるということか。愛知支部への影響はどれぐらいか。

(回答)

- ・ まだ本部からのシミュレーションの提示が無いためわからない。大規模支部が加算対象に集中すると加算額が大きくなる。その金額が小規模支部に流れることになれば、保険料率にも大きな影響があると思われる。

- ・ 保険者間の規模の違いの問題が、支部間でも起こるのではないか。

【学識経験者】

- ・ 通常インセンティブで業績を上げようとする場合、もっと小さな単位でやる。支部単位では大きすぎてインセンティブが働かないのではないか。個人や企業といった小さい単位でないと動機付けにならない。インセンティブというなら、インセンティブの発揮のさせ方がある。

- ・ このインセンティブは協会けんぽの職員のやる気に対するインセンティブではないのか。

- ・ 真面目にやっている企業にとっては、全ての指標をクリアしているにもかかわらず他の企業のために料率が上がることになる。

【事業主代表】

- ・ 加算率2%は大きすぎるのではないか。当初は激変緩和のような措置が必要ではないか。

(回答)

- ・シミュレーションをして具体的な数字が出たらお示ししたい。

【学識経験者】

- ・事業所間でやらなければ意味をなさないし、事業所間でやるにしてもかかるコストがわからないと比較できず、シミュレーションがなければ議論できない。

4. 平成 29 年度 事業計画について

【被保険者代表】

- ・愛知支部が取り組んでいる「自治体カルテ」と新たに導入する「GIS」の関係は。

(回答)

- ・「自治体カルテ」は自治体ごとに1人当たり医療費や透析患者がどのぐらいいるかなど、県内の自治体をランキングし、傾向や取り組みの提案をするもの。「GIS」は兵庫支部のパイロット事業が全国展開したもので、例えば、健診未受診者を地図上に分布させ、その分析や対策を行うもの。自治体内の分布図をつくることで自治体との連携事業に活かせることもあると思われる。

【被保険者代表】

- ・愛知支部として健康保険委員だけを集めて大会を行う予定はあるか。

(回答)

- ・具体的な計画はない。数が1万1千人を超えており、一同に集まっていただくことが難しい状況。社会保険委員会連合会の中に「健康保険委員部会」を作っていただき、そこで事業報告を行っている。

【被保険者代表】

- ・ローソンがコンビニに検診車を出して行う健診を積極的に実施していると思うが、協会でも検診車による健診を実施しているか。

(回答)

- ・スーパーや結婚式場など検診バスを出せるところで実施しており、大変好評である。

【学識経験者】

- ・協会けんぽに加入していない企業が少なからずあると思うが、ペナルティや指導はどういう現状か。

(回答)

- ・年金機構の役割となっており協会は勧奨ができない。まだ相当数が未加入であると思われる。

5. その他

- ・平成 29 年 2 月 17 日開催の中部ブロック評議会について説明。
- ・次回評議会は平成 29 年 5 月上旬に開催予定